

# 二中図書館だより





## 二中の教職員の方々のおすすめの本





新しい年の始まりです。今年も皆さんへのお年玉は、二中教職員の方々からのおすすめの本です。教職員の方々が作成したPOPと二中の図書館にある本は展示しています。ぜひ見にきてください。先生のおすすめの本を読んで、語り合ってみましょう！（どの本をどのの方が選んだのか、図書館で確認しましょう）

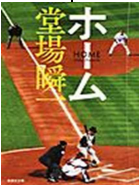
どんな人におすすめ？	読んだ後はどんな気持ちになる？	おすすめの本(色付きは図書館にあります) あらすじやオススメのポイント！
友人関係に悩んでいる人	<p>感涙必至!!</p> 	<p><b>「明日の僕に風が吹く」 乾ルカ</b> 実家は病院。将来の夢は医師。東京で生まれた中学校生活を送っていた少年が、学校で注目を集めた出来事で希望を失い引きこもり。叔父に北海道の高校入学を勧められる。「海鳥の楽園」と呼ばれる島でたった4人の級友と島民に囲まれる日々。戸惑いながらも島になじみ始めた頃、残酷な別れが彼を襲い…。</p>
生きる上でのきっかけを知る	心にちよっぴり暖かい灯をともす	<p><b>「通天閣」 西加奈子</b> 大阪の下町を舞台としたストーリーで、温かさを感じる本です。</p>
バスケ好き、スポーツ好きな人	バスケットボールをやってみたい、主人公のように純粋な気持ちでスポーツに打ち込みたい、一生懸命努力すれば運命は変えられるという気持ち。	<p><b>「スラムダンク」 井上雅彦</b> 不良少年の主人公がある女子生徒を好きになり、彼女から「バスケットやってみない？」と誘われ入部した。バスケット未経験者であるがその魅力に夢中になり、一生懸命努力する姿や、バスケットはチームスポーツなので個性あふれるメンバーとケンカしながらも切磋琢磨しあって、全国大会を目指していくストーリーがオススメ!!(^^)</p>
歴史好きでなくてもおもしろいかも	<p>静寂と時代の緊迫感が同時に伝わってくる印象でした。</p> 	<p><b>「利休にたずねよ」 山本兼一</b> 第140回直木賞受賞作(2009)2013年に映画化されています。安土桃山時代に出てくるおなじみの戦国大名が登場し、この時代にブームとなった茶の湯をめぐる奥深い世界や、美に対する意識にふれられる。</p>
みんな	何とも言えない切ない気持ち	<p><b>「ムーンライト・シャドウ」 吉本ばなな</b> 恋人を亡くし悲しみに暮れる主人公が、それを乗り越えようとしながら生きることに向き合う話です。短編小説なので、読みやすいです。</p>


<p>本を読むのが苦手な人、毎日なんだかつまらない・・・とっている人</p>	<p>ほっこりとした気持ちになれますよ～</p> 	<p><b>「もものかんづめ」 さくらももこ</b> ちびまる子ちゃんの作者さくらももこさんのエッセイです。何気ない筆者の日々の出来事が描かれています。日々の出来事のとらえ方がとてもユニークです。その中でも「メルヘン翁」が私のおすすめてです。</p>
--	--	---


<p>ファンタジーが好きな人に</p> 	<p>勇気がもらえる作品です。主人公が奮闘・成長する姿に感動しました。1～6巻、すぐに読み終わりました。</p>	<p><b>「龍ノ国幻想1～神欺く皇子～」 三川みり</b> 龍が飛びまわる国「龍ノ原」は、太古の生活様式を守りながら皇尊により治められており、他国からも神聖な国として人々は平和に暮らしていました。次代の皇尊候補のひとり<small>ひおり</small>に選ばれた日織にはある秘密が。偏見や差別、様々な困難と戦いながら、神も欺いて皇尊になれるのか。</p>
---	--	---


<p>今、悩みをかかえている人は、ぜひ!</p>	<p>さあ頑張るゾ! という気持ちにさせられます。</p> 	<p><b>「さっちゃんのまほうのて」 たばたせいいち</b> 今から二十数年前にこの絵本と出会いました。前向きに生きるきっかけを与えてくれる作品であり、家族愛の深さも感じさせてくれます。ぜひ御一読を!!</p>
--------------------------	---	--


<p>この地球の大きさを体感したい人</p>	<p>あの頃の25歳で放浪していた青く熱い気持ちを思い出します。</p> 	<p><b>「深夜特急1～6」 沢木耕太郎</b> 「インドのデリーからイギリスのロンドンまで乗り合いバスで行ってみたい」ある日、そう思い立った作者が旅する紀行文。私はこれでユーラシア大陸の果てまで旅に出ました。旅人のバイブルです。</p>
------------------------	---	--

<p>野球が好きな人へおすすめ!</p> 	<p>本を読んで野球を楽しめる!!</p>	<p><b>「ホーム」 堂場瞬一</b> WBC や大谷フィーバーでわいた日本野球リベンジに燃える野球母国アメリカ。もしアメリカ代表が日本人監督を招いたら!?アメリカ代表のプライドと初の日本人監督の奮闘劇。</p>
--	-----------------------	---


<p>自分のことが好きになれない人</p>	<p>切ない。悲しい。真の強さを感じる。</p> 	<p><b>「よだかの星」 宮沢賢治</b> よだかはその醜い容姿のせいでひどい目にばかり遭う。「灼け死んでもかまわない」そんなよだかが目指したものは・・・。短編小説で読みやすい!!</p>
-----------------------	--	---

<p>一日一日を大切にしたい人</p> 	<p>そういう考え方があるんだ～と気持ちをすっと軽くしてくれます。</p>	<p><b>「人生はニャンとかなる」 水野敬也</b> 個性的な猫たちが、名言を可愛く伝えてくれます。歴史上の出来事や偉人の生き様をもとにしているので説得力があります。猫好きの人は必ずハマります。</p>
---	---------------------------------------	--


<p>本を読むのがあまり得意ではない人</p>	<p>「明日もがんばろう」という気持ちになります。</p> 	<p><b>「まるむし帳」 さくらももこ</b> ・様々なテーマの詩が入った詩集です。<u>数学的な詩も!!</u> ・<u>ちびまる子ちゃん</u>の作者であるさくらももこさん作です。 ・中2課題曲ぜんぶも入っています。</p>
-------------------------	---	---

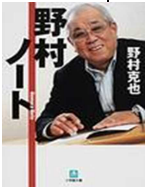
	<p>元気やパワーをもらえる。自分もチャレンジしてみよう!と前向きな気持ちになれる。</p>	<p>「アジアで花咲け! なでしこたち」 たかぎなおこ イラストレーターのたかぎなおこさんが、アジアで活躍する女性を取 材。海外で働くことになったきっかけや経験したことなどを楽しく紹介 しています。写真やイラストが沢山載っています。旅行した気分にな れます。</p>
--	--	---


<p>いろいろなこと に迷っている人 かな</p>	<p>自分の生き方を見つめなお したくなるような詩が多いで す</p>	<p>「四季抄 風の旅」 星野富弘 同じものを見ているのに思いもよらない感性で詩として表現してい る。私はたんぽぽの絵に添えられた詩が特に好きです。</p>
-----------------------------------	---	--

<p>本が苦手な人 でも読める!!</p>	<p>モヤモヤから のすっきり!!</p> 	<p>「六人の嘘つきな大学生」 浅倉秋成 「究極の心理戦」ある一面だけで人を判断してはいけない。人はいろ いろな面があるから、それだけで決めつけてはいけないと思われ る作品。</p>
---------------------------	---	---

<p>頭を1回から っぽにしたい人 へ</p>	<p>童心にもどり、達成感に満 ちる</p>	<p>「ウォーリーをさがせ!」 マーティン・ハンドフォード しましまシャツにぽんぽん帽子のウォーリーが町やビーチ、遊園地な どにあらわれます。みつげられるかな?</p>
---------------------------------	----------------------------	--


<p>旅が好きな人</p> 	<p>ワクワクして、色々な事に チャレンジしてみたくなり ます</p>	<p>「SASARU~地球の刺さり方」 Kozee Google マップのピンになって「地球に刺さり続けた男」の記録。世 界中を旅した先生の友達。見た事もない世界の景色! 食べたこともな い料理! 経験したこともないワクワクした旅話! 人生一度きり!! 全力で 人生を楽しもう♪</p>
---	---	---


<p>野球人</p> 	<p>外角低めが大切なん だな</p>	<p>「野村ノート」 野村克也 元名野球選手の野村さんが評論家時代、監督時代に考え、学び、体 系化された内容が簡潔にまとめられています。原点投球がとても大 事。</p>
--	-------------------------	--

<p>心に栄 養がほ しい人</p> 	<p>感動、ホッカリ、心が あったか~くなります ☺</p>	<p>「ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと」 鎌田洋 行く度に夢と感動を与えてくれるディズニーランドの裏側や「仕事と は?」「人生とは?」など、働くことの本当の意味を教えてくれる本📖</p>
--	--	---

<p>これでいいの かな・・と考え ているあなた</p>	<p>「なるほど」と禅の世界を 感じ「それでいいんだ」と ホッとします。</p>	<p>「心をととのえるスヌーピー悩みが消えていく禅の言葉」 ショルツ みんなの知っているあのスヌーピーと仲間達がつぶやいています。 見開きのページで英語のマンガ、つぶやき、禅語、その説明があり、 どこから読んでもいいところがおすすです。</p>
--------------------------------------	--	--

<p>大人な中学生</p>	<p>年齢を重ねただけの自分 を考えゾワゾワします</p>	<p>「ブリキの太鼓」 ギュンター・グラス 軍靴の響きが聞こえる大戦前の時代。3歳でブリキの太鼓を鳴らしな がら飛び降り、成長を止めたオスカルの冷めた視線・・・</p>
---------------	-----------------------------------	--

<p>今が少つまらなと感じている人、自分に自信がほしい人</p> 	<p>生きてると、時には誰かと比べて落ち込んだり一般論を押し付けられて窮屈に感じる事もありますが、自分は自分、ありのままが良いんだという気持ちになります。</p>	<p><b>「ぼくは勉強ができない」 山田詠美</b>  <b>【あらすじ】</b>ぼくは勉強ができないと自覚し、決して悲観することなく勉強よりも素敵で大切なことが沢山あると自分自身を認め、日々頑張っている男子高校生が主人公のお話。<b>【おすすめポイント】</b>なんと言っても斬新なタイトルに心奪われると思います。世の中には勉強の他にも大切なことがたくさんあると気づかされる1冊です。自分の気持ち、考えのままに素直に生きる主人公に背中を押されてみてください!!</p>
--	---	--

<p>介護の仕事に興味のある人</p> 	<p>主人公の若者もそうですが、本に登場する施設利用のご高齢の方々からパワーをもらえます。</p>	<p><b>「ウェルカム・ホーム」 丸山正樹</b>          新人の介護士が老人ホームに勤め始め、悪戦苦闘しながら仕事のやりがいを感じるようになるまで成長していく話を、コミカルに描いています。実は筆者の丸山正樹さんは、私の高校時代の同級生。12月にNHKで草薙剛主演で放送された「デブ・ヴォイス」の原作者でもあります。</p>
---	---	--

<p>大人ぶりたい中学生</p>	<p>題名の意味がわかり満足します</p>	<p><b>「限りなく透明に近いブルー」 村上龍</b>          若者の淡々とした日々の生活を綴った本です。退廃したところが表現されています。</p>
------------------	-----------------------	--



□ 1月の特設コーナー

**「美しいってなんだろう？」 森村泰昌**

お正月には“ニューイヤー駅伝”や“箱根駅伝”に興じた人もいたのではないのでしょうか。何故駅伝というのでしょうか？古代から駅馬や伝馬と呼ばれる馬を使って手紙や物質を運んでいました。そこから幹線道を人が走るルートを駅伝と呼んだという説が有力です。そこで今回は、すっかり年明けの恒例となった感がある“駅伝”“リレー”にまつわる本を集めてみました。

**駅伝・リレーに関する本**

・駅伝やリレーに関する小説や物語を読みたい

- 「パスワード春夏秋冬 上」松原秀行
- 「そして、バトンは渡された」瀬尾まいこ
- 「疾風の女子マネ！」まはら三桃
- 「ランナー」あさのあつこ
- 「あと少し、もう少し」瀬尾まいこ
- 「白をつなぐ」まはら三桃
- 「タスキメシ」額賀滯
- 「タスキメシ箱根」額賀滯

・長短距離リレーのスキルをあげたい

- 「ぐんぐん強くなる陸上競技」尾縣貢

・リレー形式で積み上げてきた人類の英知を知りたい

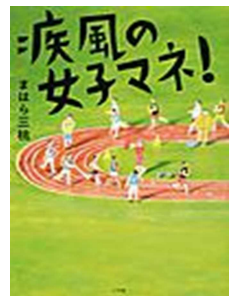
- 「Twitterをつくった3人の男」メアリ・レーン・カンバーグ
- 「世界を変えた50の科学」ピーター・ムーア他
- 「クレイジーが世界を変えた!!天才科学者149人列伝」ダン・グリーン
- 「続 目で見る数学」ジョニー・ボール

・仲間と楽しくリレー遊びをしたい

- 「学校レクリエーション 新学期&休み時間レク」北川雄一

・箱根駅伝の始まりを知りたい

- 「1940年まぼろしの東京オリンピック」日本オリンピック・アカデミー



選手が悩み葛藤しながら走り続ける理由とは？

